

歯科医院様にお届けください。

バイオ・プラスト
2016年9月30日

(技工所様も必ずお読みになってください。)

下記事項はバイオプラストで作った義歯のトラブル回避の為の注意事項です。
義歯と一緒に歯科医院様にお届けください。

義歯材料の記録のお願い。

現在、熱可塑性の樹脂は弊社をはじめ他社メーカー様より様々な材質、商品名で販売されております。

材質によって、修理やリライニングの方法、使用する材料が異なります。

歯科医院様におきましては後日の修理及びリライニングを円滑に行なうため、使用材料名をカルテ等に記録することをお薦めします。

使用材料

「バイオ・プラスト」

注意事項 ※変形の原因になる恐れがありますので下記の行為は避けてください。

- (1) 70℃以上の温水浸漬はしないでください。(※日常生活の飲食には差し支えありません。)
- (2) スチーム洗浄器による洗浄はしないでください。(但しノズルより4cm以上離せば使用できます。)
- (3) 自動研磨機の使用は避けてください。(内部温度が70℃以上になる為)
- (4) オートクレーブ(121℃/135℃)には入れないでください。
- (5) 即時重合レジン及びリライニング材は化学的に結合しません。

義歯の修理について

- アーム部が“ゆるい”場合、アーム部と床の接合部付近をバーナー等で炙って軟化させて調整してください。 ※バーナーで炙る際は、樹脂を焦がさない様に注意してください。
- ポリアミド系樹脂である本製品はリライニング材や即時重合レジンとは化学的に接着しません。
但し、機械的維持を付与することで、リライニングが可能です。
また別売の「スーパープライマー」を使用して再射出成形することで補修面と新しく射出成形したポリアミド樹脂を接着させることが出来ます。(歯科技工所での間接法となります。)

使用可能な薬品および洗剤

市販の薬品及び洗剤は使用できます。

✂ キリトリ線 ✂

患者様にお渡し下さい。

樹脂名:バイオ・プラスト

使用可能な入れ歯洗浄剤

- ・ さわやかデント (デンケン・ハイデンタル) 定価 3,780 円(税込)/約 300 回使用分
- ・ その他市販の「入れ歯洗浄剤」

[御注意]: 70℃以上の熱いお湯に漬けないでください。(※日常生活の飲食には差し支えありません。)
※義歯が変形する場合があります。

修理に関する注意点

- ポリアミド系樹脂である本製品はリライニング材や即時重合レジンとは化学的に接着しません。
但し、機械的維持を付与することで、リライニングが可能です。
また別売の「スーパープライマー」を使用して再射出成形することで補修面と新しく射出成形したポリアミド樹脂を接着させることができます。
 - ※ 「スーパープライマー」をご使用の際は添付の取扱説明書をよく読んでご使用ください。
 - ※ 義歯床（樹脂）とリライニング材及び即時重合レジンが剥がれ、割れが生じる場合がありますので「たわみ」が生じる部分のリライニング・修理は出来ません。

リライニング リライニング材は硬質系の樹脂をお使いください。

※ シリコン系及び軟質系のリライニング材は維持孔を付与しても剥がれる場合があります。



①リライニング部位を深めにカーバイドバーで彫ります。



②ラウンドバーで維持孔をできるだけ多く付与してください。



③硬質系のリライニング材又はポリファスト（即重）を築盛し、口腔内又は模型に戻してください。



④リライニング材又はポリファスト（即重）の余剰部分を削除し、ビッグポイント等で移行的に仕上げてください。

再成形法（増歯・樹脂アームの修理）

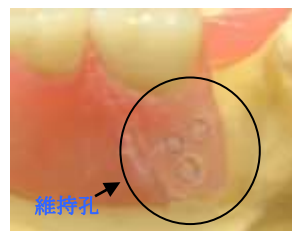
増歯及び樹脂アームの修理は、再成形することで可能です。



①このケースでは、左上5の増歯と左上3へのアーム延長を行います。



②「たわみ」が生じない部分まで旧義歯を削り込みます。頬側面と粘膜面側から削り込み維持部として「軸」を作ります。



③「軸」に維持孔を付与してください。



④左上3のアームの設計を行い左上5の増歯（要維持孔）とアーム部のワックスアップを行った後、スブルーイング・埋没・脱ロウを行います。



⑤脱ロウ後スーパープライマーを補修面と移行部に塗布し、塗布後1時間程度放置して再射出成型を行ないます。再射出時の熔融条件は約280℃/10分で行なってください。



⑥再射出成型を行い、プラスチックから割り出して義歯を取り出します。



⑦スブルーをカットし、研磨を行います。



⑧左上5の増歯とアーム部の再成形の完成。